

報道関係者各位
プレスリリース

2024年8月8日

上田商会と武井工業所がエシカルコンクリート
『TUTUMU』の商標使用許諾契約を締結
2024年10月より販売を開始

株式会社上田商会（代表取締役：上田 朗大）と株式会社武井工業所（代表取締役：武井 厚）は、エシカルコンクリート『TUTUMU』の商標使用許諾契約を締結しました。これにより株式会社武井工業所は2024年10月より『TUTUMU』ブランドを用いて低炭素コンクリートの製造販売を開始します。



上田商会では、2022年6月のリリース以降、エシカルコンクリート『TUTUMU』の配合への切り替えを進め、現在は全ての土木用コンクリート製品に適用しております。武井工業所も2024年10月にエシカル配合へ切り替え、生産を開始します。これにより、両社のコンクリート製品を使用する全ての事業者様が環境負荷低減に寄与することができます。上田商会と武井工業所は、エシカルコンクリート『TUTUMU』の普及を通じてサステナブルな社会の構築を目指してまいります。

私たちは社会貢献活動の一環として、エシカルコンクリート『TUTUMU』の売上の一部を、北海道コンサドーレ札幌が展開するサステナブルプロジェクト「PASS」に寄付しています。この寄付金により、今年は函館市のサッカー少年団を対象にしたブラインドサッカー体験会及び交流会を実施いたしました。元コンサドーレの選手やブラインドサッカーチーム「ナマーラ北海道」と協力し、子供たちに周囲の方への配慮や思いやりの大切さを伝えることを目的としています。また、武井工業所も株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホックとパートナー契約を締結しており、エシカルコンクリート『TUTUMU』で製造されたコンクリート製品の売上の一部を水戸ホーリーホック・子供たちの夢を育む地域貢献プロジェクトへ協賛いたします。



〔エシカルコンクリート『TUTUMU』とは〕

通常のコンクリートに比べ、セメント使用量を削減し、産業副産物であるフライアッシュや高炉スラグ微粉末を使用したコンクリートです。一般的なセメントを使用したコンクリート製品に比べて、材料由来の二酸化炭素排出量が削減されます。また将来的には再生骨材の利用も視野に入れており、天然資源の枯渇リスクに対応する考えです。

〔上田商会『TUTUMU』性能〕

1. 耐久性

エシカルコンクリート『TUTUMU』は100年の耐久性能を有します(一般コンクリートの約2倍)※A
 ※エシカルコンクリート『TUTUMU』では、高炉スラグ微粉末およびフライアッシュの2種類をセメント代替として用います。そのため塩化物イオン浸透抵抗性の向上やアルカリシリカ反応の抑制にも効果的であり、一般コンクリートよりも製品の耐久性向上が図られます。(※A)中性化による耐久性能は上田商会の配合を用いた「コンクリートの水分浸透速度係数試験」結果によるものです。

2. 強度特性

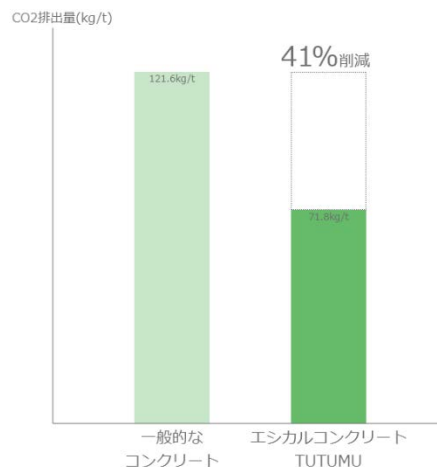
エシカルコンクリート『TUTUMU』は、一般コンクリートに比べ短期強度は同等、長期強度は増大する特性を有しています。

※エシカルコンクリート『TUTUMU』に使用する高炉スラグ微粉末は潜在水硬性を有し、セメント中に含有されたアルカリ性の刺激を受けて緻密な内部組織を構成する特徴があります。また、フライアッシュにはセメントが水和する際に生成される水酸化カルシウムが作用するポズラン反応があり、緻密な硬化体組織となります。短期強度は配合修正により一般コンクリートと同等であり、長期強度は増大する特徴を有するコンクリートです。

3. 二酸化炭素(CO2)排出削減効果

エシカルコンクリート『TUTUMU』を使用したコンクリート製品のCO2の排出量は、一般コンクリートに比べ平均41%削減されます。

※CO2の削減割合は上田商会の各工場の平均値となります。下記の表では1トンのコンクリート製品を製造する場合の一般コンクリートとエシカルコンクリート『TUTUMU』のCO2排出量を示しています。



武井工業所は独自配合となるため、削減割合や性能等は上田商会と異なります。

〔商品開発の背景〕

2015年のパリ協定採択以降、世界的に気候変動問題への対策が加速しており、日本政府も2020年10月に2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。これを受け、株式会社上田商会とグループ企業は前述の政府方針を支持するとともに、パリ協定の目標に沿って温室効果ガス排出量削減に真摯に取り組むため、2050年に向けたCO2排出削減ロードマップを策定致しました。具体的な取り組みとしては低炭素型エシカルコンクリート「TUTUMU」の開発や、各工場での太陽光発電システムの導入、高効率省エネ設備等の導入を推進しております。

◆上田商会について

上田商会はコンクリート製品の製造販売を通じて豊かで安全安心な社会の実現に貢献するため、1925年の創業以来、パイオニア精神を旨として技術の研鑽に励んでいる。2022年6月には国内のコンクリート製品業界では初めて全てのプレキャスト製品を低炭素配合に切り替え「TUTUMU」ブランドで製造販売を開始、従来製品と同価格で工事の低炭素化を実現することができるため、顧客からの支持が広がっている。同年7月には同じく業界初でSBTイニシアチブの認定を取得。2023年11月にはTCFD提言への賛同を表明している。また、2022年3月には世界で初めてコンクリートサウナ「CUBERU」をリリース、全国のサウナファンや温浴事業者などからも好評を得ている。同年4月にはインド工場(Aurangabad)が操業を開始。今年で創業99年目となり2025年には100周年を迎える。

- (1)社名 : 株式会社上田商会
- (2)所在地 : 北海道登別市新川町2丁目5番地1
- (3)代表者 : 代表取締役 上田 朗大
- (4)創業 : 大正14年3月
- (5)設立 : 昭和25年11月
- (6)公式サイト : <https://ueda-gr.jp/>
- (7)Facebook : <https://www.facebook.com/ueda.gr/>
- (8)Instagram : https://www.instagram.com/ueda_group/

◆武井工業所について

武井工業所は1939年の創業以来「より安全で快適な社会作りに全力で貢献する」という理念を掲げ、プレキャストコンクリート製品の製造・販売を通じて社会インフラの発展に寄与してきた。今日においては、人員不足などの社会問題の解決につながるオリジナルの開発製品を次々に世に送り出しており、これらの製品はその製造販売権が全国のコンクリートメーカーにライセンスされ、日本各地の施主や建設会社から高い評価を受けている。武井工業所は、快適な社会作りに貢献し続けるべくその製品を構成する素材をも時代のニーズに合わせるため、製造する全ての製品を低炭素配合「TUTUMU」に切り替える。これにより温室効果ガスの排出量を削減し、創業100周年を迎える2039年までのネットゼロ実現に向け様々な取り組みを更に加速させる。なお、武井工業所は上田商会、小倉セメント製品工業と共にインドにFuji Infrastructure Technologies Pvt. Ltd. を設立し、同地においてコンクリート製品の製造販売を手掛けている。

- (1)社名 : 株式会社武井工業所
- (2)所在地 : 茨城県石岡市若松一丁目3番26号
- (3)代表者 : 代表取締役 武井 厚
- (4)創業 : 昭和14年7月
- (5)設立 : 昭和31年4月
- (6)公式サイト : <https://www.takei21.co.jp>
- (7)X (旧 Twitter) : https://x.com/takei21_ctk

■サービス導入に関する相談・お問い合わせ先

株式会社上田商会 千歳工場

住所：北海道千歳市上長都1130番12

担当：石塚、中丸

Tel：0123-27-2220

E-mail：info@ueda-gr.jp

株式会社武井工業所

住所：茨城県石岡市若松一丁目3番26号

担当：戸崎、酒井

Tel：0299-24-5200

E-mail：contact@takei21.co.jp

■リリースに関する媒体・報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社上田商会 千歳工場

住所：北海道千歳市上長都1130番12

担当：石塚、中丸

Tel：0123-27-2220

E-mail：info@ueda-gr.jp

株式会社武井工業所

住所：茨城県石岡市若松一丁目3番26号

担当：戸崎、酒井

Tel：0299-24-5200

E-mail：contact@takei21.co.jp